

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立中学校給食検討委員会(第1回)				
事務局 (担当課)		学校保健課 電話042-769-8283(直通)				
開催日時		平成26年6月24日(火) 午後3時~5時				
開催場所		相模原市役所第2別館 5階 教育委員会室				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	3人(学校保健課長、他2人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	4人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 中学校給食の課題整理について ア 温かい給食の提供について イ ご飯の量について ウ 給食時間の確保について エ モデル校での実施について (2) その他 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( は委員の発言、 は事務局の発言)

### 1 開会

### 2 あいさつ

吉岡会長あいさつ

### 3 議題

#### (1) 中学校給食の課題整理について

資料1から資料5に基づき、事務局より説明を行い、質疑・意見交換を行った。

配膳室に給食を受け取りに行く生徒については、現在は1班(6人)で行っているが、汁物のコンテナが2つ増えると人が足りなくなる。また、クラスでの配膳台も必要になるのではないかと思う。クラスで生徒が自分の分を席に運ぶときに、今の容器はおかずとご飯の容器が重なるようになっていて、汁物がついた場合、汁物をさらに重ねたときに落としてしまう恐れがある。トレー等があった方が良くと思う。

現在使用している容器のように、おかず容器の上にご飯と汁物の容器が重ねられるようになっている容器があるので、実際に実施する場合は、容器の変更も考えられる。

無理に1回で持っていかなくても、クラスの中でのことなので、2回に分けて運ばせるようにしたら安全に運べるのではないかと思う。

現場ではなかなかうまくいかない。

汁物容器は少しぐらい傾けてもこぼれないような構造なのか。

少し傾けたぐらいではこぼれない。

汁物以外のものを入れることもあるのか。

栄養士の考える献立によると思われる。

汁物は熱い状態でなくても、現在もご飯は温かいので、その程度の温かさでもよい。

保護者の立場で考えると、金額が変わったり、システムのID、パスワードが変わることはやめてほしい。

汁物はどうしても塩分量が多くなる。そのため、塩分量等の関係で今の献立に汁物を付けることは無理なのでは。ある程度ベースを同じにしても、モデル校用に新たな献立を立てる必要がある。

配膳用にトレーを各クラスに用意すると、トレーの洗浄、消毒も必要となる。コストも余計に掛かる。

資料を見ると、配膳室が小さいようだが、クラスごとに5～6人の生徒が給食を受け取りに来て混乱していないのか。

汁物の提供で、暑い時期にスープ等の温かいものが必要なのか。他市で牛乳をやめるとの話も聞くが、牛乳と汁物を献立によって使い分けてもいいのではないかと思う。

調理業者が大小ライスの対応ができないのはなぜか。

機械に盛付の量を設定することで、自動で盛り付けられる。ご飯を盛り付ける工程ラインが複数あれば大小同時に出来るが、現在の状況では出来ない。大ライス後に設定を変えて小ライスを行うことは可能だが、時間がかかることや、置いておく場所を確保する必要もある。

城山学校給食センターでは、暑い時期にもスープを出しているが特に多く残るということもない。

モデル校として1～2校で実施した場合、同じ献立で汁物を付けるのであれば、他の学校にも何か変わりのものを付けたほうがよい。

システムのID、パスワードが変わっても、1回だけなら何とかかなと思う。ただ、お金が高くなるのは難しい。

モデル実施で専用の献立を用意するなら、調理業者は1者で実施するほうがよい。

各ブロック1校ずつ実施してほしいと考えていたが、完全実施に向けて考えると費用面もあるので、無理せず1つのブロックでの実施でよい。

システムでの予約が面倒。パスワードは自分で変更できるが、IDは出来ないで変更できるようにしてほしい。

就学援助を受けている家庭では、兄弟がいると1月分の5,503円でも負担になって頼めないこともあるのではないかなと思う。

喫食率の悪いところでモデル実施をした方が喫食率が上がるのではないかな。北部ブロックの学校で実施してみてもよい。

生活保護世帯の場合は、代理納付の承諾があれば入金がなくても予約できるようになったが、就学援助の場合、7月に援助が決定するため実施していない。

献立を1品減らしてその食材で汁物を提供すれば、金額を変更しなくてもよい。

モデル校での実施の目的がはっきりしていない。金額についても、市のホームページで1食300円となっているので、300円で実施するべき。

モデル校で何を検証するのか、考えていかなければならない。

市側として、費用がかなりかかりそうだが大丈夫か。

容器は給食をイメージさせる様な容器にしてほしい。

小学校にあって中学校で不足しているのが、食育の時間だと思われる。

次回の検討委員会で、モデル校での実施について、さらに検討したい。

単価は300円のままで考える。

残食が多いとのことだが、ご飯の量を100gごとの容器にして、多く食べたい生徒は2つとか3つ頼むことが出来れば、残食を減らすことにつながると考える。

女子生徒で、食べたいけど友達が1つだから1つしか食べないといった事が起こることが心配。

小食となりやすい女子生徒でも最低限必要な量を確保しなければならず、それが190gぐらいだと思う。

個別容器により汁物の提供を全校で実施する場合に、市では予算を確保できるのか。単年度では難しいと思う。複数年かかることも考えられるが、確保に向け努力していきたい。

今回、概算費用を資料として用意していただいたが、物品等は定価ベースとのことなので、3年計画ぐらいで精査したものを次回用意していただきたい。

調理方法について、各業者に同じように指示し調理していると思うが、業者によってバラツキがあるようなので、再度、業者に対する教育等も必要と思う。

食育についても、家庭で親が話をするよりも、学校で先生や栄養士の方の話を聞いたほうが生徒自身も考えると思うので、モデル校で実施してみてもどうか。

まだ、詳細にはできていないが、昨年度のアンケートの結果を独自に解析したところ、給食時間を確保すると喫食も伸びること、また、味付けがいいと注文が増加することがわかった。

次回の検討委員会では、モデル校実施に向けて評価基準も含めて検討したい。

食育についても検討項目に入れモデル校で実施できるか検討し、具体的な改善をしていく。

## (2) その他

今年度の検討委員会の開催について、5回程度開始を予定している。

第2回 7～8月

第3回 9月

第4回 12～1月

第5回 2～3月を予定。

## 4 閉会

以上

## 相模原市立中学校給食検討委員会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	吉岡 有紀子	相模女子大学栄養科学部	会 長	出席
2	伊与 亨	北里大学医療衛生学部		出席
3	小嶋 理史	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		欠席
4	小関 和代	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
5	堺 千里	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
6	水野谷 珠世	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
7	高原 麻美	相模原市立小中学校 PTA 連絡協議会		出席
8	黒瀧 直行	新町中学校	副会長	出席
9	北村 正弘	青野原中学校		欠席
10	小泉 勉	旭中学校		出席
11	山本 真	相武台中学校		出席
12	朴木 昇	弥栄中学校		出席
13	高橋 純子	城山学校給食センター		出席
14	高橋 陽子	公募		出席